

令和2年度新規

令和3年度1回目変更

令和4年度2回目変更

令和5年度3回目変更

令和6年度4回目変更

令和8年度5回目変更

土地改良事業変更計画書

（ 農地中間管理機構関連農地整備事業 小文地区 ）

事業主体 広島県

施工場所 広島県三次市小文町

第1章 目 的	1
第2章 地 域 及 び 地 積	1
第1節 地 域	1
第2節 地 積	1
第3章 現 況	2
第1節 気象及び海象	2
1 一般気象	2
2 特殊気象	2
3 海 象	3
第2節 土地状況	3
1 地形、土壌及び侵食の程度	3
2 土地分類	4
3 土地利用の状況	4
4 土地所有の状況	5
第3節 水利状況	5
1 用水状況	5
2 排水状況	8
3 河川状況	10
第4節 道路概況	10
1 道路概況	10
2 主要道路一覧表	11
第5節 地域農業の概況	11
1 産業別就業人口	11
2 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況 並びに専兼業別農家数	11
3 動力農機具及び主要家畜頭数	12
4 主要作物作付状況	13
5 農業の動向	13
第6節 地域環境の概要	14

第4章 一 般 計 画	15
第1節 事業計画の要旨	15
1 要 旨	15
2 事業別面積	15
第2節 営農計画及び土地利用計画	15
1 営農計画の概要	15
2 土地利用区分	15
3 作付方式	16
4 生産計画	17
5 労働改善計画	18
6 級地別土地利用区分	19
7 土地配分計画	19
第3節 用 水 計 画	20
1 計画基準年	20
2 計画かんがい方式	20
3 計画用水系統	20
4 計画用水量	20
5 水源計画	21
第4節 排 水 計 画	23
1 計画基準雨量	23
2 計画排水方式	23
3 計画排水系統	23
4 計画排水量	23
5 排水対策	23
6 たん水検討	24
第5節 道 路 計 画	25
1 道路及び索道	25
2 路線配置図	25
第6節 農用地造成計画	25
1 農用地造成計画	25
2 土壌改良	25

第 7 節	洪水調節計画	26
1	計画基準雨量	26
2	計画洪水量及び調節量	26
3	貯水池	26
4	洪水調節検討	26
5	管理計画	26
第 8 節	干 拓 計 画	26
第 9 節	農用地整備計画	27
1	区画整理	27
2	暗渠排水	27
3	客土	28
4	農地保全	28
第 10 節	老朽ため池改修計画	29
1	洪水吐改修計画	29
2	堤体補強計画	29
3	取水施設改修計画	29
第 5 章	主 要 工 事 計 画	30
第 1 節	用水施設	30
1	貯水池	30
2	頭首工	30
3	揚水機	30
4	用水路	30
第 2 節	排水施設	31
1	排水水門	31
2	排水機	31
3	排水路	31
4	その他	31
第 3 節	道路及び索道	32
1	道 路	32
2	索 道	32

第 4 節	農用地造成	32
1	農用地造成	32
2	土壌改良	34
第 5 節	洪水調節施設	34
1	貯水池	34
2	頭首工及び導水施設	34
第 6 節	干拓施設	34
1	堤防	34
2	潮止め	35
3	付属施設	35
4	埋立	35
第 7 節	農用地整備施設	35
1	区画整理	35
2	暗渠排水	36
3	客土	36
4	除礫	36
5	農地保全	37
第 8 節	老朽ため池改修施設	37
1	貯水池	37
2	堤体補強施設	37
第 6 章	附 帯 工 事 計 画	38
第 7 章	工事の着手及び完了の予定時期	38
第 8 章	環境との調和への配慮	38
第 9 章	換地計画の概要	38
第 1 節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	38
第 2 節	換地区の設定	38
1	換地区の名称、所在、面積	38
2	換地区を設定する理由	38

第 3 節	換地区計画樹立の基本方針	38
1	従前の土地の地積の基準	38
2	用途別予定地積	39
3	農用地集団化の方針	40
4	非農用地の換地方法	40
第 4 節	土地の評価及び清算の方法	40
1	評価の方法	40
2	清算の方法	40
第 5 節	換地計画樹立の年度計画	40
第 6 節	換地処分の特則	40
第 10 章	事業費の総額及び内訳	41
第 11 章	効 用	41
第 12 章	関係する事業	41
第 13 章	現況・計画図面	41
1	現形図	
2	確定測量図	
3	計画概要図及び主要構造図	

第1章 目 的

本地区は三次市の北に位置し、標高160～170mの西城川沿いの農振農用地区域である。近年、農業従事者の高齢化が進み、区画整理が不十分な本地区では、農作業が困難になっており、担い手への農地集積・集約化が進まない状況である。そこで、区画整理を行うことで農地集積・集約化を進めるための条件を整備し、農業生産企業の参入・営農拡大や地域の核となる経営力の高い担い手への集積と育成を図り、白ネギ、もち麦の栽培による安定した営農を確立させることを目的に本事業を行うものである。

なお、今回の計画変更は、事業費の変動及び施行地域に変更があったため行うものである。

第2章 地域及び地積

第1節 地 域

(第1表)

事業名	地 域
農地中間管理機構関連農地整備事業	広島県三次市小文町

第2節 地 積

()は変更前 (第2表)

事業名	現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
	市町村名							
農地中間管理機構関連農地整備事業	三次市	(17.8) 17.6	0.4	0.0		(1.7) 2.1	(19.9) 20.1	
合 計		(17.8) 17.6	0.4	0.0		(1.7) 2.1	(19.9) 20.1	

第3章 現 況

第1節 気象及び海象

1 一般気象

(第3表-1)

観測所名 庄原		かんがい期		非かんがい期	計又は平均	備考
観測期間 1979年～2019年		5月～9月		10月～4月		
平均気温 (℃)		21.0		6.3	12.4	
降水量	平均 (mm)	902.0		590.3	1,492.3	
	基準年 (mm)					
降水日数	平均 (mm)	55		77	132	
	基準年 (mm)					
根雪期間		- 月 - 日 ～ - 月 - 日		- 日間		
無霜期間		- 月 - 日 ～ - 月 - 日		- 日間		
最多風向		西北西		最大風速 (風向)	12.2 m/s (南南西)	最多風向発生時期 11月～4月 最大風速発生年月日 2012年4月3日

2 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位		
三次															
観測期間															
S26年～R1年	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率
最大日雨量 (mm)	210	S47.7.10	209.1	182	S58.7.23	58.2	172	S40.6.19	37.3	166	S49.10.1	28.7	166	H30.7.6	28.7
最大時間雨量 (mm)	74	H8.7.22	46304.7	45	H12.9.22	11.9	42	S53.9.15	7.1	41	S56.6.27	6.1	41	H9.8.5	6.1
最大4時間雨量 (mm)	108	H2.9.13	42.7	102	S58.7.23	26.8	94	H8.7.22	14.8	91	S54.6.23	11.9	90	S53.9.15	11.1
最大連続雨量 (mm)	498	S60.6.21 ～6.30	-	424	S54.6.20 ～7.2	-	373.5	R1.7.3 ～7.8	-	336.5	H22.7.8 ～7.15	-	333	H7.6.30 ～7.7	-
最大連続干天日数 (日)	85	S51.1.1 ～3.25	1513.3	85	S52.1.1 ～3.26	1513.3	79	S53.1.1 ～3.20	824.2	42	S46.10.30 ～12.10	14.6	40	S29.10.18 ～11.26	11.2

3 海 象

該当なし

(第3表-3)

観 測 所 名		既往最高潮位 (m)	さく望平均満潮位 (m)	上下弦平均満潮位 (m)	平均潮位 (m)	上下弦平均干潮位 (m)	さく望平均干潮位 (m)	既往最低潮位 (m)
観 測 期 間	年～ 年							
実 測 値		()						()

第2節 土 地 状 況

1 地 形、土 壤 及 び 侵 食 の 程 度

()は変更前

(第4表-1-1)

事 業 名	地目	田・畑						樹園地・その他								受益地標高(m)	
	傾斜 区分	1/1000 以下	1/1000 ～1/100	1/100 ～1/20	1/20 ～1/11.5	1/11.5 以上	計	3° 以下	3° ～8°	8°～15°			15° ～20°	20° 以上	計	最高	最低
										8° ～10°	10° ～12°	12° ～15°					
農地中間 管理機構 関連農地 整備事業	面積 (ha)	2.1	(13.9) 13.7	2.3			(18.3) 18.1									170	160
	比率 (%)	12	(76) 75	13			100										
合 計	面積 (ha)	2.1	(13.9) 13.7	2.3			(18.3) 18.1										
	比率 (%)	12	(76) 75	13			100										

()は変更前

(第4表-1-2)

項目 土壤統(区)名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表									面積(ha)		備 考	
	土 壤 断 面							堆積様式	母材	事 業 名			
	色	腐 植	礫 層	酸化 沈殿物	土 性					泥 炭 層 黒 泥 層 及びグライ層	農地中間管理機構 関連農地整備事業		計
					表 土 一 層	下 層 土 二 層 三 層							
灰褐色土壤 粘土質構造マンガン型 G-61	灰褐	なし	なし	-	-	-	-	なし	水積	非固結堆積岩	1.4	1.4	
灰褐色土壤 壤土マンガン型 G-63	灰褐	なし	なし	-	-	-	-	なし	水積	非固結堆積岩	6.0	6.0	
礫層土壤 粘土型等 J-90、91、92	灰褐	なし	0～30cm以下	-	-	-	-	なし	水積	非固結堆積岩	(10.9) 10.7	(10.9) 10.7	
計												(18.3) 18.1	

該当なし

(第4表-1-3)

事業名	区分	土壌の流亡率				年平均流亡速度				ガリ浸蝕の程度		備 考
		0	0～ 25%	25%～ 50%	50%	0	3mm未満	3～5mm	5mm以上	中程度 のもの	大なる もの	
	面積(ha)											
	比率(%)											

2 土地分類

該当なし

(第4表-2-1)

市町村名	級地別	農用地造成										計	備 考	
		一級地	二級地				三級地				四級地			
			※	3° ～8°	8° ～12°	12° ～15°	※	15° ～20°	20° ～25°	25° ～30°	※			30° 以上
	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		
													※は傾斜以外の 要因によるもの	
計														

該当なし

(第4表-2-2)

級地別 市町村名	干 拓					備 考
	一級地 (ha)	二級地 (ha)	三級地 (ha)	四級地 (ha)	計 (ha)	
計						

3 土地利用の状況

()は変更前

(第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地						山林		採草 放牧地 (ha)	原野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の 樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
農地中 間管理 機構関 連農地 整備事 業	三次市	(17.8) 17.6	0.4								0.0	(1.7) 2.1	(19.9) 20.1	
合 計		(17.8) 17.6	0.4								0.0	(1.7) 2.1	(19.9) 20.1	

4 土地所有の状況

()は変更前 (第4表-4)

事業名	所有別 区分	個人所有	国所有	県所有	市所有	改良区所有	計	備 考
農地中 間管理 機構関 連農地 整備事 業	面積 (ha)	(18.7) 18.8	0.3	0.1	(0.8) 0.9	0.0	(19.9) 20.1	
	受益者数 (人)	32					32	
	筆数 (筆)	(301) 307	25	14	(23) 25	1	(364) 372	
	権利関係 (人)	(39) 37				1	(40) 38	
	備考 (関係戸数)							
合 計	面積 (ha)	(18.7) 18.8	0.3	0.1	(0.8) 0.9	0.0	(19.9) 20.1	
	受益者数 (人)	32					32	
	筆数 (筆)	(301) 307	25	14	(23) 25	1	(364) 372	
	権利関係 (人)	(39) 37				1	(40) 38	
	備考 (関係戸数)							

第3節 水利状況

1 用水状況

河川、ため池を水源としている。

(1) 用水系統

別添資料①参照

(2) 用 水 施 設

(ア) 取 水 方 法 一 覧 表

()は変更前

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延べ 取水量	備 考
		ha以上		～ha		100 ha未満									
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m³/s	箇所	m³/s	m³/s	
農地中間 管理機構 関連農地 整備事業	貯水池					1	1.4	1	1.4			1	0.005		ため池
	井堰					1	0.9	1	0.9			1	0.003		
	自然取入口														
	揚水機					1	(15.5) 15.3	1	(15.5) 15.3			1	(0.058) 0.057		
	その他														
合 計						3	(17.8) 17.6	3	(17.8) 17.6			3	(0.066) 0.065		

(イ) 改 修 を 要 す る 施 設 一 覧 表

該当なし

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	施設名 又は 箇所数	受益面積(ha)	構 造	規 模	新設年 又は 更新年	改修を 必要とする 理由	備 考
	貯水池							
	井堰							
	自然取入口							
	揚水機							
	用水機							
	その他							
合 計								

(ア) 用水不足による被害状況

該当なし

[illegible]

	かんがい
--	------

該当なし

事業名	時期別	かんがい 面積 (ha)	水温(℃)		水質	被害量 (t)	備 考
			最高	最低			

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況 該当なし

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積 (ha)				想定被害額 (百万円)					計	備 考
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他		
合 計											

2 排水状況

(1) 排水系統
別添資料④参照

(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	項目 施設名		排水面積						計		排水慣行 (m3/s)	現況排水能力 (m3/s)	備考
			500 ha以上		500ha未満～100ha		100 ha未満						
	箇所	面積ha	箇所	面積ha	箇所	面積ha	箇所	面積ha					
農地中間 管理機構 関連農地 整備事業	自 然	排水路					3	77.8	3	77.8	2.208	2.650	
		水門											
	機 械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
	合 計						3	77.8	3	77.8	2.208	2.650	

(イ) 改修を要する施設一覧表

該当なし

(第5表-5)

（第〇表）

事業名	項目		施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年 又は 更新年	改修を必要とする理由	備 考
	施設名								
	自然	排水路							
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
	合 計								

(3) 排水に関する被害状況

該当なし

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)		湛 水 状 況				乾 湿 状 況 (ha)						平 均		備 考
					湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m3)	田		畑		その他		減 産 量		
	乾				湿	乾	湿	乾	湿	作物名	減産量(t)						
			平均														
			基準年														
			平均														
			基準年														
			平均														
			基準年														
合 計			平均														
			基準年														

3 河川状況

(1) 河川状況

該当なし

(第5表-7)

河川名	項目	流路状況	勾配	断面	計画洪水量 (m3/s)	既往最大洪水量 (m3/s)	備 考

(2) 洪水に関する被害状況

該当なし

(第5表-8)

区分	項目	農用地 (百万円)	農用施設 (百万円)	作物 (百万円)	公共施設 (百万円)	備 考
	過去の最大被害額					
	平均被害額					

第4節 道路概況

1 道路概況

本地区は、県道39号線が区域の西側に沿って南北に縦断している。この主要道路から本地区へ接続する農道は未改修で農道の幅員が狭く高低差も大きい、農業機械の搬入搬出や農作物の運搬に多大な時間と労力を要している。さらに、県道のため一般交通量も多く合流の際の安全性が低い、営農時の県道通行は極力抑えたい。

2 主要道路一覧表

(第6表)

No	路 線 名	管理区分別	延 長 (m)	幅 員 (m)		構 造	改修の要否	備 考
				全 幅	有 効			
	県道39号線	県	1,400	6.5 ～ 10.0	-	アスファルト舗装	否	

第5節 地域農業の概況

1 産業別就業人口

(第7表-1)

項目 市町村名	総 数	農 業	林 業	漁 業	鉱 業等	建 設 業	製 造 業	電 気 ガ ス 熱 供 給 水 道 業	運 輸 通 信 業	卸 売 り 小 売 業	金 融 保 険 業	不 動 産 業 等	サ ー ビ ス 業	公 務	そ の 他	備 考
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
三次市	26,040	2,947	126	12	16	1,880	3,831	144	1,268	3,640	326	263	3,906	1,021	6,660	
比率(%)	100	11.3	0.5	0.0	0.1	7.2	14.7	0.6	4.9	14	1.3	1	15	3.9	25.5	

資料:国勢調査(H27)

2 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

(第7表-2)

区分 市町村名	農家 総戸数 (戸)	経 営 耕 地 広 狭 別 農 家 数 (戸)											1戸当たり平均農用地面積(ha)						耕地の分散状況		専 兼 業 別 家 数 (戸)			備 考
		例外規定 の適用を 受けるもの	0.3 ～ 0.5	0.5 ～ 1.0	1.0 ～ 1.5	1.5 ～ 2.0	2.0 ～ 3.0	3.0 ～ 5.0	5.0 ～ 10.0	10.0 ～ 20.0	20 ha 以上	自給 的 農家	田	畑	樹 園 地	小 計	草 地	計	一戸 当たり 団地数	団地 当たり面積 (ha)	専 業	兼 業		
			第一種	第二種																				
三次市	4,291	-	564	1,352	553	229	107	69	43	32	22	1,320	1.0	0.1	0.3	1.4		1.4	-	-	979	152	1,840	
比率(%)	100		13	31	13	5	2	2	1	1	1	31									23	4	43	

資料:農業センサス(H27)、広島農林水産統計年報

3 動力農機具及び主要家畜頭数

(第7表-3)

項目 市町村名	動 力 農 機 具								主 要 家 畜						備 考
	トラクター等		田植機		コンバイン				乳用牛		肉用牛		豚		
	数 量 (台)	戸 数 (戸)	数 量 (台)	戸 数 (戸)	数 量 (台)	戸 数 (戸)	数 量 (台)	戸 数 (戸)	数 量 (頭)	戸 数 (戸)	数 量 (頭)	戸 数 (戸)	数 量 (頭)	戸 数 (戸)	
三次市	2,978	2,688	2,256	2,203	1,922	1,844			1,361	34	X	121	11,379	4	
100戸当り 数量(台、頭)	111		102		104										
利用戸数 割合(%)	63		51		43										

資料:農業センサス(H27)

4 主要作物作付状況

(第7表-4)

市町村名			三次市				計	平均	作付率 (%)	備考
総耕地面積(ha)			3,222				3,222			
総本地面積(ha)			－							
区分			作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg・10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)		
作物名										
田	表作	水稻	3,070	503					95	
		大豆	95	114					3	
	裏作									
	小計									
畑	春夏作									
	秋冬作									
	小計									
樹園地										
	小計									
計			－				－			
市町村別 延べ作付率(%)			－				－			

資料: 広島農林水産統計年報(H29-30)

5 農業の動向

(第7表-5)

項目 区分	農家			土地			主要作物			大家畜			動力農機具			地域 指定等	備考
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A	農機具名	B	A		
変化の 状況 (C年を 100とする 指数)	総農家数	86	72	耕地	98	97	米	98	102	乳用牛	-	-	耕運機	86	69		A: 平成27年 B: 平成22年 C: 平成17年
	専業農家数	91	81	田	99	97	麦類	56	-	肉用牛	-	-	田植機	81	63		
	第一種兼業農家数	81	34	普通畑	94	92	豆類	83	93	豚	-	-	コンバイン	82	62		
	第二種兼業農家数	74	63	樹園地	-	-	野菜	680	57	採卵鶏	-	-	防除機	-	-		
	農業従事者数	77	58														
変化の 理由	農業を取り巻く社会情勢の変化による。																

資料: 農業センサス、広島農林水産統計年報

第6節 地域環境の概要

本地区は、三次市の市街地に比較的近い位置あり、県道39号三次高野線周辺と西城川に挟まれた平らな地形である。気象は平均最低気温マイナス7.1℃から平均最高気温35.4℃で、年間降水量は1,500mm前後となっている。

また、本地区は「三次市田園環境整備マスタープラン」において”環境配慮区域”に指定されており、工事の施工前から随時確認を行い、必要に応じて工法検討を行う必要がある。なお、現地調査の結果、保護すべき動物としてニホンイタチ、ミサゴ、ニホンヒキガエル、トノサマガエル、マルタニシ、コガムシ、コガネグモなど7種、保護すべき植物として地域特徴種を含めたタヌキマメ、ミズマツバ、クチナシグサ、ヒメミズワラビ、イチョウウキゴケなど5種の生息が確認されており、環境省及び広島県のレッドデータリストに掲載されている動植物も確認されている。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1 要 旨

本地区は農業の個別経営から法人経営へと移行するため、生産基盤である耕地に関して区画形質の改善、用排水路、道路、暗渠排水の整備、耕地の集団化等を総合的に実施し、農業機械の効率的な運行と合理的な水管理を行ないうる生産性の高い条件に整備することを目的とする。

また、農業従事者の高齢化による地域農業衰退の危機を解消するため、事業を契機に規模を拡大する地元営農法人への農地集積、広島県が掲げる高収益作物の取り組みにより、地域農業の再編と農業経営の安定を図る。

2 事業別面積

()は変更前 (第8表)

事業名 土地利用区分 事業目的	農地中間管理機構関連農地整備事業														小計	計	備考
	水田 (ha)	輪換耕地 (ha)	普通畑 (ha)	山林 原野等 (ha)	その他			水田 (ha)	輪換耕地 (ha)	普通畑 (ha)	山林 原野等 (ha)	その他			(ha)	(ha)	
区画整理		(15.0) 14.7	(1.9) 2.0		(3.0) 3.4			(19.9) 20.1								(19.9) 20.1	
(暗渠排水)		2.1						2.1								2.1	
計		(15.0) 14.7	(1.9) 2.0		(3.0) 3.4			(19.9) 20.1								(19.9) 20.1	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1 営農計画の概要

現在、農業に取り組む若い担い手の減少や営農者の高齢化が急速に進行しているため、本地区を含めた地域農業の大きな課題になっている。この課題を解消するために、集落法人の規模拡大・農地集積の進行・共同購入など集落法人間の連携を加速させ、区画整備や暗渠排水などの基盤整備を併せることで、営農効率の向上・高収益作物への取り組み拡大・担い手の創出を推進する。

2 土地利用区分

()は変更前 (第9表-1)

事業名	土地利用区分 区分	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
農地中間管理機構関連農地整備事業	現況	(17.8) 17.6	0.4					(18.2) 18.0	0.0		(1.7) 2.1	(19.9) 20.1	
	計画	(15.0) 14.7	(1.9) 2.0					(16.9) 16.7			(3.0) 3.4	(19.9) 20.1	
計	現況	(17.8) 17.6	0.4					(18.2) 18.0	0.0		(1.7) 2.1	(19.9) 20.1	
	計画	(15.0) 14.7	(1.9) 2.0					(16.9) 16.7			(3.0) 3.4	(19.9) 20.1	

3 作付方式

(第9表-2)

事業名	項目	経営類型	土地利用 区分	1年目												2年目												備考	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
				月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月		月
農地中間管理機構 関連農地整備事業	現況	水稻	田				○	△					×						○	△					×			○:播種	
		もち麦	田						×					○							×				○			△:定植	
	計画	水稻	田				○	△					×						○	△					×			×	
		もち麦	田						×					○							×				○				
		白ネギ	畑				○	△								×	×			○	△						×		
		ぶどう	畑																									※ぶどうは3年目に収穫	
				3年目												4年目													
	現況	水稻	田				○	△						×						○	△					×			
		もち麦	田						×					○								×	○						
	計画	水稻	田				○	△						×						○	△					×			
		もち麦	田						×					○								×	○						
		白ネギ	畑	×			○	△									×	×			○	△						×	
		ぶどう	畑							×	×	×												×	×	×			

4 生産計画

()は変更前 (第9表-3)

事業名	項目 土地 利用区分		作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり 収量(kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量 増減の内訳(t)		備考
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積 増減	単位面積当たり 収量増加	
農地中間管理機構 関連農地整備事業	田	表作	もち麦	2.9	2.8	△ 0.1	16	16	198	198	0	5.7	5.5	△ 0.2	△ 0.2	0.0	
			水稻	10.6	(13.1) 12.8	(2.5) 2.2	60	74	(517) 523	(527) 533	10	(54.8) 55.4	(69.0) 68.2	(14.2) 12.8	(12.9) 11.5	1.3	
			自家消費・自己保全	(3.9) 3.7		(△3.9) △ 3.7											
	畑	表作	白ねぎ		(0.8) 0.7	(0.8) 0.7		(5) 4	(1774) 1,672	(1774) 1,672	0		(14.2) 11.7	(14.2) 11.7	(14.2) 11.7	0.0	
			ぶどう		0.8	0.8		5	(1088) 1,090	(1088) 1,090	0		8.7	8.7	8.7	0.0	
			自家消費・自己保全	0.4	(-) 0.2	(△0.4) △ 0.2		(-) 1									
	計			(17.8) 17.6	(17.5) 17.3	△ 0.3	100	100									

5 労働改善計画

()は変更前

(第9表-4)

事業名	項目 土地 利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量(hr/10a)					備考	
				区分	現況	計画	増	減		
農地中間管理機構関連農地整備事業	田	もち麦	2.8	人 力	(12.9)	12.8	6.0	(6.9)	6.8	
				機械力		5.6	5.3	0.3		
		水稻(個→法)	(10.0)	人 力		39.6	11.3	28.3		
				機械力		12.2	7.0	5.2		
		水稻(法→法)	(3.1)	人 力		39.6	30.4	9.2		
				機械力		12.2	12.0	0.2		
				人 力						
				機械力						
				人 力						
				機械力						
	畑	白ねぎ	(0.8)	人 力		602.4	463.8	138.6		
				機械力		136.8	67.8	69.0		
				人 力						
				機械力						
				人 力						
				機械力						
				人 力						
				機械力						
				人 力						
				機械力						
		人 力								
		機械力								
		人 力								
		機械力								
		人 力								
		機械力								
計		(16.7)	人 力	(694.5)	694.4	511.5	(183.0)	182.9		
			機械力		166.8	92.1	74.7			

6 級地別土地利用区分

該当なし

(第9表-5)

土地利用区分	区分 級地名	農用地造成(ha)					干拓(ha)					合計
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農地	田											
	輪換耕地											
	畑											
	(普通畑)											
	(牧草畑)											
	樹園地											
	(果樹園)											
	(桑園)											
その他												
計												

7 土地配分計画

該当なし

(第9表-6)

項目 区分	配分戸数 (戸)	地目別配分計画(ha)								備 考
		田	転換耕地	畑					計	
				普通畑	牧草畑	樹園地				
増 反		()	()	()	()	()	()	()	()	
入 植		()	()	()	()	()	()	()	()	

第3節 用水計画

1 計画基準年

近傍三次観測所の資料(昭和26年～平成30年)における、かんがい期間中の有効雨量と連続干天日数の1/10年確率を求め、昭和48年を計画基準年とする。

2 計画かんがい方式

開水路(KF)にて取水かんがいを行う。かんがい期間は4月21日～9月25日の158日間とし、代掻き期は4月21日～4月30日の10日間とする。

3 計画用水系統

別添資料②参照

4 計画用水量

(1) かんがい用水

()は変更前

(第10表-1-1)

項目 系統名	種別	面積(ha)			水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			そ の 他		消費 水量 (m3/s)	損 失 率 (%)	粗 用 水 量		備考		
		事業名			計	普通期	代かき期	面 積 (ha)	深 平 り一均 計日か 画当ん た水 (mm/日)	平 均 数 間 断 日 (日)	面 積 (ha)	深 平 り一均 計日か 画当ん た水 (mm/日)	平 均 数 間 断 日 (日)	面 積 (ha)	平 均 計 画 単 位 用 水 量 (mm/日)			面 積 (ha)	平均		最大	
		農地中 間管理 機構関 連農地 整備事 業				計画平均	単 位 代 用 か 水 き 量 (mm)															
						(mm/日)	(mm)															
A	農業用水	(14.0) 13.8		(14.0) 13.8	19	158	(13.2) 13.0	30	7	0.8						(0.029) 0.028	15	(0.055) 0.029	0.054			
B	農業用水	0.8		0.8	19	158	0.0	30	7	0.8												
C	農業用水	0.8		0.8	19	158	0.8	30	7	0.0												
計		(15.6) 15.4		(15.6) 15.4			(14.0) 13.8			1.6						(0.029) 0.028		0.029	(0.055) 0.054			

(2) 営農飲雑用水

該当なし

(第10表-1-2)

区分	利用目的	対象面積(ha)			日当たり給水量		補給回数(回)	関係戸数(戸)	備考
		事業名			単位給水量 (リットル/日)	最大給水量 (リットル/日)			
				計					

5 水源計画

(1) 水利用計画

別添資料③参照

(第10表-2)

項目 区分		消費 水量	有効 雨量	純用 水量	粗用 水量	現況利用可能水量			不足水量		水源依存量		水源 工種	備 考
						水源名	取水地点 利用可能量	ほ場利用 可能量	純不足 水量	全不足 水量	水源名	水量		
		a (千m3)	b (千m3)	c=a-b (千m3)	d= c/(1-a) (千m3)		e (千m3)	f (千m3)	g=c-f (千m3)	h=d-e (千m3)		(千m3)		損失率 :a
(事業名)														
	計													

(2) 用水対策

(ア) 貯水池

(第10表-3)

項目 貯水池名	流域面積 (km2)		かんがい面積(ha)		純貯水量 (千m3)	利用貯水量 (千m3)	利用回数 (回)	最大取水量 (m3/s)	備考
			事業名						
	直接	間接	農地中間管理機構関連農地整備事業	計					
台の段池	0.18		1.0	1.0	1.4	1.4	-	0.004	ため池
計									

(イ) 井堰及び自然取水口

(第10表-4)

項目 取水施設名	河川名	流域面積 (km2)	かんがい面積(ha)		取水量(m3/s)		渇水量 (m3/s)	備考
			事業名		最大	平均		
			農地中間管理機構関連農地整備事業	計				
一の渡4号頭首工	大坪谷川	-	1.0	1.0	0.004	0.003	-	
計			1.0	1.0	0.004	0.003		

(ウ) 揚水機

()は変更前

(第10表-5)

項目 名称	水源名	かんがい面積(ha)		所要水量(m3/s)		揚水機				備 考
		事 業 名		最 大	平 均	実揚程 (m)	揚水量 (m3/s)	台数 (台)	全揚水量 (m3/s)	
		農地中間管理機構関連農地整備事業	計							
小文揚水機場	西城川	14.7	14.7	0.051	0.038	- -	- -	2	6.133 3.069	

(エ) 用水路

()は変更前

(第10表-6)

項目 名称	かんがい面積(ha)		最大通水量 (m3/s)	延長 (km)	構 造	備 考
	事 業 名					
	農地中間管理機構関連農地整備事業	計				
支線用水路	(15.6) 15.4	(15.6) 15.4	0.010～0.042	(0.83) 0.88	角フリューム200 ベンチフリューム(300～450)	
計	(15.6) 15.4	(15.6) 15.4	0.010～0.042	(0.83) 0.88		

(オ)その他の水源施設

該当なし

(3)水温水質

水温、水質とも作物生育上支障なし

第4節排水計画

1 計画基準雨量

1/10年確率（時間雨量） 44.3 mm/hr (4時間雨量) 88.7 mm/4hr

1/2年確率（時間雨量） 30.6 mm/hr (4時間雨量) 60.6 mm/4hr

2 計画排水方式

角フリュームにより河川または下流水路へ自然排水する。

3 計画排水系統

別添資料⑤参照

4 計画排水量

()は変更前 (第11表-1)

排水 系統名	項目	受益面積(ha)		流域面積 (km2)		基準 雨量 (mm)	降雨による		基底流出量 (m3/s/km2)		全排水量(m3/s)			単位排水量 (m3/s/km2)		備 考
							直接単位流出量 (m3/s/km2)	山地			平地	山地	平地			
		山地	平地													
		農地中間管理機構関連農地整備事業	計	山地	平地		山地	平地	山地	平地	山地	平地	自然排水	機械排水	山地	
A		(7.5) 7.7	(7.5) 7.7	0.000	0.018	44.3	3.080	2.464			0.000	0.234		0.000	2.463	
B		5.3	5.3	0.225	0.023	44.3	3.080	2.464			0.693	0.187		3.080	2.461	
C		7.1	7.1	0.248	0.063	44.3	3.080	2.464			0.764	0.330		3.081	2.463	
計		(19.9) 20.1	(19.9) 20.1	0.473	0.104											

5 排水対策

(1)排水水門

該当なし

(第11表-2)

項目 名称	流域面積 (km2)		受益面積(ha)			計画排水量		排水本川			備 考
			事業名			排水量 (m3/s)	地区内 湛水深(m)	名称	計画洪水量 (m3/s)	計画洪水位 (m)	
					計						
計											

(2) 排水機

該当なし

(第11表-3)

項目 名称	流域面積 (km2)	受益面積 (ha)			計画排水量		排水機				備 考
		事業名			排水量 (m3/s)	地区内 湛水深(m)	実揚程 (m)	排水量 (m3/s)	台数 (台)	全排水量 (m3/s)	
				計							
計											

(3) 排水路

()は変更前

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (km2)	受益面積 (ha)		計画排水量 (m3/s)	延長 (km)	構造	排水本川			備考
		事業名					名称	計画洪水量 (m3/s)	計画洪水位 (m)	
		農地中間管理機構関連農地整備事業	計							
支線排水路 用排兼用水路	0.58	(19.9) 20.1	(19.9) 20.1	2.208	(2.43) 2.67	KF200～500	西城川、本郷川 大坪谷川			
計			(19.9) 20.1		(2.43) 2.67					

(4) その他

該当なし

6 たん水検討

該当なし

第5節 道路計画

1 道路及び索道

(1) 道路

(()) は変更前 (第12表-1)

項目 路線名	幅(有効)×延長 (m) (km)	構 造	既設道路との関係	備 考
支線道路	5.0(4.5)×0.07	アスファルト	県道・市道・農道に接続	
支線道路	4.0(3.5)×((2.14))2.17	アスファルト	県道・市道・農道に接続	
支線道路	2.0(1.5)×0.06	砂利	市道・農道に接続	
支線道路	4.0(3.5)×0.06	コンクリート	市道・農道に接続	
計	((2.33)) 2.36			

(2) 索道

該当なし

(第12表-2)

項目 路線名	能 力(t/hr)	延長(m)	接続道路名	備 考

2 路線配置図

計画平面図参照

第6節 農用地造成計画

1 農用地造成計画

該当なし

(1) 農用地造成計画

該当なし

(第13表-1)

項目 土地利用区分	主要作物	自然傾斜	耕地の形状	標準区画の形状	備考

(2) 末端水路配置図

該当なし

2 土壌改良

該当なし

(第13表-2)

項目 区分	面 積 (ha)	土壌統(区)名	pH		置換酸度 (Y1)	りん酸吸収 係 数 (mg/100g)	ha当たり所要量			備考
			H ₂ O	KCl			石 灰 (t)	りん酸質 資 材(t)	有機質 資材(t)	

第7節 洪水調節計画

1 計画基準雨量 該当なし

2 計画洪水量及び調節量 該当なし

(第14表-1)

地点	流域面積 (km ²)	洪水 到達時間 (hr)	計画 洪水量 (m ³ /s)	安全 洪水量 (m ³ /s)	必要 調節量 (m ³ /s)	ピーク時 調節量 (m ³ /s)	ピーク時 調節後流量 (m ³ /s)	調節前後 最大流量 (m ³ /s)	調節前後 最大流量の差 (m ³ /s)	最大調節量 (m ³ /s)

3 貯水池 該当なし

(第14表-2)

項目 貯水池名	流域面積(km ²)		計画洪水量 (m ³ /s)	貯水量(千m ³)			計画調節流量 (m ³ /s)	可能調節流量 (m ³ /s)	備考
	直接	間接		有効	洪水調節容量	他目的			

4 洪水調節検討 該当なし

- (1) 河川改修計画との関係
- (2) 洪水調節が下流に及ぼす影響
- (3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討

5 管理計画 該当なし

- (1) 管理機構
- (2) ダム管理操作上の各種基準
- (3) 洪水調節要領

第8節 干拓計画 該当なし

(第15表)

項目 名称	延長 (m)	計画高潮(水)位 (T.P.m)	風向及び対岸距離 (km)	風速 (m/s)	気圧 (mb)	備考

第9節 農用地整備計画

1 区画整備

(1) 区画の形状

()は変更前 (第16表-1)

長辺×短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)		割合 (%)		田面差 (m)	備考
50×100	0.50	(10.0)	7.5	(59.2)	44.9	1m以内	
20×100	0.20	(6.5)	8.1	(38.5)	48.5	1m以内	
20×100	0.20	(0.4)	1.1	(2.4)	6.6	1m以内	
端田区							
計		(16.9)	16.7				

(2) 表土扱い

()は変更前 (第16表-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m3)	備考
(15.6) 15.4	肥沃度の保持が困難	15	(23,400) 23,100	

(3) 末端水路配置図

計画平面図参照

2 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第16表-3-1)

区分	項目	面積(ha)		土壌統(区)名	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 (ℓ/s/ha)	計画後の 地下水位(m)	集水渠出口 以下の 排水方式	備考
		事業名							
		農地中間管理機構関連農地整備事業	計						
通常暗渠		2.1	2.1		40	4.6	0.6	自然排水	
計			2.1						

(2) 心土破砕

該当なし

(第16表-3-2)

区分	項目	面積(ha)		土壌統(区)名	土壌硬度	備考
		事業名				
			計			
計						

3 客 土

該当なし

(第16表-4)

項目 区分	面積(ha)			土壌統(区)名	減水深 (mm/日)		作土の厚さ (cm)		10a当たり 客土量 (m3)	土壌の性質		備考
	事業名				現況 平均	計画 平均	現況 平均	計画 平均		受益地 (%)	採土地 (客土材料)(%)	
			計									

4 農 地 保 全

(1) 防 災 林

該当なし

(第16表-5-1)

項目 区分	最大風速 (m/s)	幅 (m)	間隔 (m)	備 考

(2) 排 水 工

該当なし

(第16表-5-2)

項目 区分	基準雨量 (mm/日)	土 性	流出率	排水量		備 考
				単位排出量 (m3/s/ha)	全排水量 (m3/s)	

(3) 侵 食 (崩 壊) 防 止 工

該当なし

(第16表-5-3)

項目 区分	位置	支配面積 (ha)	機能	備 考

第10節 老朽ため池改修計画

- | | |
|------------|------|
| 1 洪水吐改修計画 | 該当なし |
| (1) 計画基準雨量 | |
| (2) 計画洪水量 | |
| 2 堤体補強計画 | 該当なし |
| 3 取水施設改修計画 | 該当なし |

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1 貯水池

該当なし

(第17表-1)

名称				位置						
堤体	形式	流域面積(km2)		堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (m3)	基盤地番 地質	貯水量(千m3)		備 考
		直接	間接					総貯水量	有効貯水量	
洪水吐	型式	洪水量 (m3/s)		取水施設	型式	取水量 (m3/s)	放流施設	型式	放流量 (m3/s)	

2 頭首工

該当なし

(第17表-2)

名 称				位置				備 考
型 式	堤高 (m)	堤長(m)		取水 位 (m)	取水量 (m3/s)	付帯施設		
		固定部	可動部				計	

3 揚水機

該当なし

(第17表-3)

項目 名称	位置	揚水量 (m3/s)	揚程(m)		揚水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 ()	台数 (台)	

4 用水路

()は変更前

(第17表-4)

項目 水路名	かんがい面積(ha)	通水量 (m3/s)	延長(km)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名		開きよ	トンネル その他	計				
	農地中間管理機構関連農地整備事業								
支線用水路	(15.6)	0.010～0.042	(0.83)		(0.83)	KF200	1/46～1/2400	角フリューム	
	15.4		0.88		0.88	BF300～450		ベンチフリューム	
計	(15.6)		(0.83)		(0.83)				
	15.4		0.88		0.88				

第2節 排水施設

1 排水水門

該当なし

(第18表-1)

項目 名称	位置	形式	構造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水路 (m ³ /s)	備考
計							

2 排水機

該当なし

(第18表-2)

項目 名称	位置	排水量 (m ³ /s)	揚程(m)		排水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 ()	台数 (台)	

3 排水路

()は変更前

(第18表-3)

項目 水路名	受益面積(ha)	排水量 (m3/s)	延長(km)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名		開きよ	トンネル その他	計				
	農地中間管理機構関連農地整備事業								
(支線排水路)	(19.9)		(2.43)		(2.43)				
用排兼用水路	20.1	2.208	2.67		2.67	KF200～500	1/400～1/6000	角フリューム	
計	(19.9) 20.1	2.208	(2.43) 2.67		(2.43) 2.67				

4 その他

該当なし

第3節 道路及び索道

1 道路

(1) 道路の総括表

()は変更前 (第19表-1)

項目 区分	路線名	幅(有効)(m) ×延長(km)	構造	付帯構造物			最急 こう配 (%)	同左の 延長 (m)	最小曲線 半径 (m)	備考
				名称	構造	数量 (箇所)				
支線道路	15路線	(2.33) 5.0～2.0×2.36	AS・砂利・CO							
計		(2.33) 2.36								

(2) 道路主要構造物

該当なし

(第19表-2)

項目 路線名	名称	規模構造	延長 (m)	箇所数 (箇所)	備考

2 索道

該当なし

(第19表-3)

項目 名称	延長 (m)	高低差 (m)	能力 (t/hr)	原 動 機		備考
				型 式	能 力 ()	

第4節 農用地造成

1 農用地造成

(1) 抜根

該当なし

(第20表-1)

項目 区分	樹種	樹径 (cm)	ha当たり本数 (本/ha)	面積 (ha)	工法	備考

(2) 除 礫

該当なし

(第20表-2)

区分 \ 項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面積 (ha)	工法	備 考

(3) 開 墾 作 業

該当なし

(第20表-3)

区 分 \ 項 目		面 積 (ha)	工 法	備 考
地 目	造 成 工 法			
計				

(4) 地 目 変 換

該当なし

(第20表-4)

区分 \ 項目	面積(ha)	工 法	備 考
計			

(5) 末 端 用 水 路 等

該当なし

(第20表-5)

区分 \ 項目	数量	規模	構 造	備 考
計				

(6) 末 端 排 水 路 等

該当なし

(第20表-6)

区分 \ 項目	数量	規模	構 造	備 考
計				

2 土 壤 改 良

(第20表-7)

区 分 \ 項 目	面積 (ha)	石灰量 (t)	りん酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備 考
有機質資材散布	4.9			7,350	1.5t/10a
計					

第5節 洪水調節施設

1 貯水池 該当なし

2 頭首工及び導水施設

(1) 頭首工 該当なし

(第21表-2)

名称			位置	堤長(m)			計画洪水位 (m)	付帯施設	備 考
			固定部	可動部	計				
型式	集水面積 (km2)	提高 (m)	固定部	可動部	計				

(2) 導水路 該当なし

(第21表-3)

水路名 \ 項 目	通水量 (m3/s)	延長(m)			構造	勾配	備 考
		トンネル	その他	計			

第6節 干拓施設

1 堤防 該当なし

(第22表-1)

名 称 \ 項 目	型式	延長 (m)	構造					原地盤標高(m)		備考
			堤頂標高 (m)	盛土幅 (m)	盛土標高 及び舗装	上流斜面	下流斜面	平均	最低	

2 潮止め

該当なし

(第22表-2)

項目 名称	工法	幅員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備考

3 付属施設

該当なし

4 埋立

該当なし

(第22表-3)

項目 区分	面積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (m3)	施工方法	備考

第7節 農用地整備施設

1 区画整理

(1) 区画整理

()は変更前

(第23表-1)

工区名	面積 (ha)	整地工		表土扱い		備考
		標準区画	土量(m3)	面積(ha)	土量(m3)	
	(16.9)		(16,900)	(15.6)	(23,400)	
小文	16.7	50a	16,700	15.4	23,100	

(2) 末端用水路等

該当なし

(第23表-2)

項目 区分	数量	規模	構造	備考

(3) 末端排水路等

該当なし

(第23表-3)

項目 区分	数量	規模	構造	備考

2 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第23表-4-1)

区 分	項 目		集 水 渠				吸 水 渠						集水渠出口以下の排水施設			備考
	面 積 (ha)															
	事 業 名															
	農地中間管理機構 関連農地整備事業	計	勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名称	構造	数量 (m/ha)	
水田・畑	2.1	2.1	1/500	塩ビ管	φ 50～ 75	42	1/500	合成樹脂管	φ 50～ 75	0.6	10	844	排水路・用排水路	KF200～500		
計		2.1														

(2) 心土破碎

該当なし

(第23表-4-2)

区 分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m3/ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
計					

3 客土

(第23表-5)

項目 区分	面積(ha)		客入土量 (m3)	土取場土量 (m3)	運搬距離 (km)	運搬方法	備 考
	事業名						
	農地中間管理機構 関連農地整備事業	計					
水田・畑	6.1	6.1	6,100	6,100	-	-	
計							

4 除礫

該当なし

(第23表-6)

区 分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m3/ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
計					

5 農地保全

(1) 防災林 該当なし

(第23表-7)

項目 区分	幅 (m)	延長 (m)	面積 (ha)	樹種	植栽本数 (本)	備考

(2) 排水路 該当なし

(第23表-8)

項目 区分	延長 (m)	流量 (m3/s)	構造	備考

(3) 侵食防止工 該当なし

(第23表-9)

項目 名称	構造	数量	備考

第8節 老朽ため池改修施設

1 貯水池 該当なし

(第24表)

名称					位置			
堤体	型式	流域 (km2)	堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (m3/s)	堤頂幅 (m)	貯水量 (千m3)	備考
洪水吐	型式	洪水量 (m3/s)	規模 (m)	備考	取水施設	型式	取水量 (m3/s)	備考

2 堤体補強施設

(1) のり面保護施設 該当なし

(2) 漏水防止工 該当なし

第6章 附 帯 工 事 計 画 該当なし

第7章 工 事 の 着 手 及 び 完 了 の 予 定 時 期

()は変更前

地 区 名	着 手 予 定 年 度	完 了 予 定 年 度	備 考
小文	令和3年度	(令和8年度) 令和9年度	

第8章 環 境 と の 調 和 へ の 配 慮

環境調査で確認された希少動植物への配慮について、保護すべき植物としてニホンイタチ、ミサゴ、ニホンヒキガエル、トノサマガエル、マルタニシ、コガムシ、コガネグモなど7種、保護すべき動物として地域特徴種を含めたタヌキマメ、ミズマツバ、クチナシグサ、ヒメミズワラビ、イチョウウキゴケなど5種が該当するが、これらについては施工前移動・移植など適切な対応を行なう。

また、工事着手後に保護すべき生物が確認された場合は、対応・工法について検討を行ない適切に対処する。

工事中は、河川汚濁防止施設を設置し、工事区域からの濁水放流に配慮する。

第9章 換 地 計 画 の 概 要

第1節 換 地 計 画 を 作 成 す る 上 で の 基 本 的 な 考 え 方

原則として、各人の従前地の土地が最も密集した位置を中心に集団化を図り、本地区の換地設計基準、土地評価基準に基づいて換地配分する。

第2節 換 地 区 の 設 定

1 換 地 区 の 名 称 、 所 在 、 面 積

()は変更前 (第25表-1)

換 地 区 名	換 地 区 の 所 在	面 積 (ha)
小文	三次市小文町	(19.9) 20.1

2 換 地 区 を 設 定 す る 理 由

該当なし。

第3節 換 地 計 画 樹 立 の 基 本 方 針

1 従 前 の 土 地 の 地 積 の 基 準

(第25表-2)

換 地 区 名	地 積 の 基 準
小文	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、国土調査法による地籍調査に基づく登記が完了している土地にあっては、土地改良事業計画決定の日の登記簿地積とし、これ以外の土地にあっては、広島県が行う実測による地積とする。

2 用途別予定地積

()は変更前

(単位:ha)

(第25表-3)

用途 (取得予定者) 前後		非農用地区域外に換地する土地												非農用地区域に換地する土地										機能交換に係る土地					一般 国 公 用 地	総 合 計	
		田	畑	山林・ 原野	その他	通常事業施工地域に 含める土地 (令第1条の9括弧書き)			計	本事業によって 生ずる土地改良 施設用地			農 創 用 地 設	合計	特定用途用地			異 種 目 換 地	創設非農用地						合計	国	県	市			合計
						土地 改良 施設	その他	小計		改良 区	市	計			宅 地	その他	計		農 業 経 営 合 理 化 施 設 用 地	生 活 上 ・ 経 営 上 必 要 な 施 設 用 地	公 用 ・ 公 共 用 地	宅 地 等	計								
換地区名		(17.8)						(18.3)					(18.3)	(0.3)		(0.4)							(0.4)				(0.8)	(1.2)		(19.9)	
小文	従前の土地	17.6	0.4	0.0	0.1	0.0		18.1					18.1	0.6	0.1	0.7							0.7	0.3	0.1	0.9	1.3		20.1		
	換 地	(15.0) 14.7	(1.9) 2.0					(16.9) 16.7		1.3		1.3	(18.2) 18.0	(0.3) 0.6		(0.4) 0.7							(0.4) 0.7	0.3	0.1	(0.9) 1.0	(1.3) 1.4		(19.9) 20.1		
	従前の土地																														
	換 地																														
全体	従前の土地	(17.8)						(18.3)					(18.3)	(0.3)		(0.4)							(0.4)				(0.8)	(1.2)		(19.9)	
		17.6	0.4	0.0	0.1	0.0		18.1					18.1	0.6	0.1	0.7							0.7	0.3	0.1	0.9	1.3		20.1		
	換 地	(15.0) 14.7	(1.9) 2.0					(16.9) 16.7		1.3		1.3	(18.2) 18.0	(0.3) 0.6		(0.4) 0.7							(0.4) 0.7	0.3	0.1	(0.9) 1.0	(1.3) 1.4		(19.9) 20.1		

3 農用地集団化の方針

(第25表-4)

換地区名	区分	地帯別、グループ別 団地の設定	個 人 別 換 地 の 方 法		
			位置の選択方法	1戸当たり目標団地数	区画畦畔の取扱い
小文		地目別集団化 (水稻・普通畑)	母地集団化方式	おおむね2団地	(固定畦畔) ア.換地は、原則として標準区画を単位に 交付するが、換地すべき面積が標準区画 に交付して余る場合又は標準区画に不足 する場合は標準区画を分割して交付す る。 (移動畦畔) ア. 畦畔は、配分面積に応じて移動して定 める。

4 非農用地の換地方法

(第25表-5)

換地区名	区分	用途	非農用地区域の位置の概略	面積 (m2)	換地の手法	換地取得予定者	その他
		別添資料⑥参照					
小文							

第4節 土地の評価及び清算の方法

1 評価の方法

項目別配点評価方式

本地区で決定した評価基準に基づき評価委員が評価する。

2 清算の方法

比例地積清算方式

事業による増価額を従前の土地の交付対象面積に比例して配分する。

第5節 換地計画樹立の年度計画

()は変更前

(第25表-6)

換地区名	区分	一時利用地の指定 予定年度	換地計画の決定 予定年度	換地処分 予定年度	備考
		(令和4～令和7年度) 令和4～令和8年度	令和8年度	令和8年度	地区面積(19.9)ha 地区面積20.1ha
小文					

第6節 換地処分の時期に関する特則 ()は変更前

(該当なし。)

小文地区については、区画整理工事が完了し、確定測量が行なわれたときは、土地改良法第89条の2第10項において準用する同法第54条第2項本文の規定ただし書きに基づき、換地処分を行なうことができる。

第10章 事業費の総額及び内訳

()は変更前 (第26表)

事業名		農地中間管理機構関連農地整備事業	
区分		(百万円)	備考
区画整理		(497) 541	R8年度単価(R6年度単価)
暗渠排水		5	
客土工		29	
土壌改良		2	
小計		(533) 577	
測量試験費		80	
用地買収補償費		38	
換地・確定測量費		(32) 33	
事務費(工事雑費含む)		(34.2) 36.4	
合計		(717.2) 764.4	
関連事業(参考)			

第11章 効用

()は変更前 (第27表)

事業名	項目	年総効果額 (千円)	年増加農業所得額 (千円)	備考
農地中間管理機構関連農地整備事業	作物生産効果	(1,910) 1,600	(4,719) 5,706	
	営農経費節減効果	(37,340) 39,000	(37,340) 39,000	
	維持管理費節減効果	(△284) △274	(△284) △274	
	国産農産物安定供給効果	(1,308) 1,323	-	
	計	(40,274) 41,649	(41,775) 44,432	

第12章 関係する事業

該当なし

(第28表)

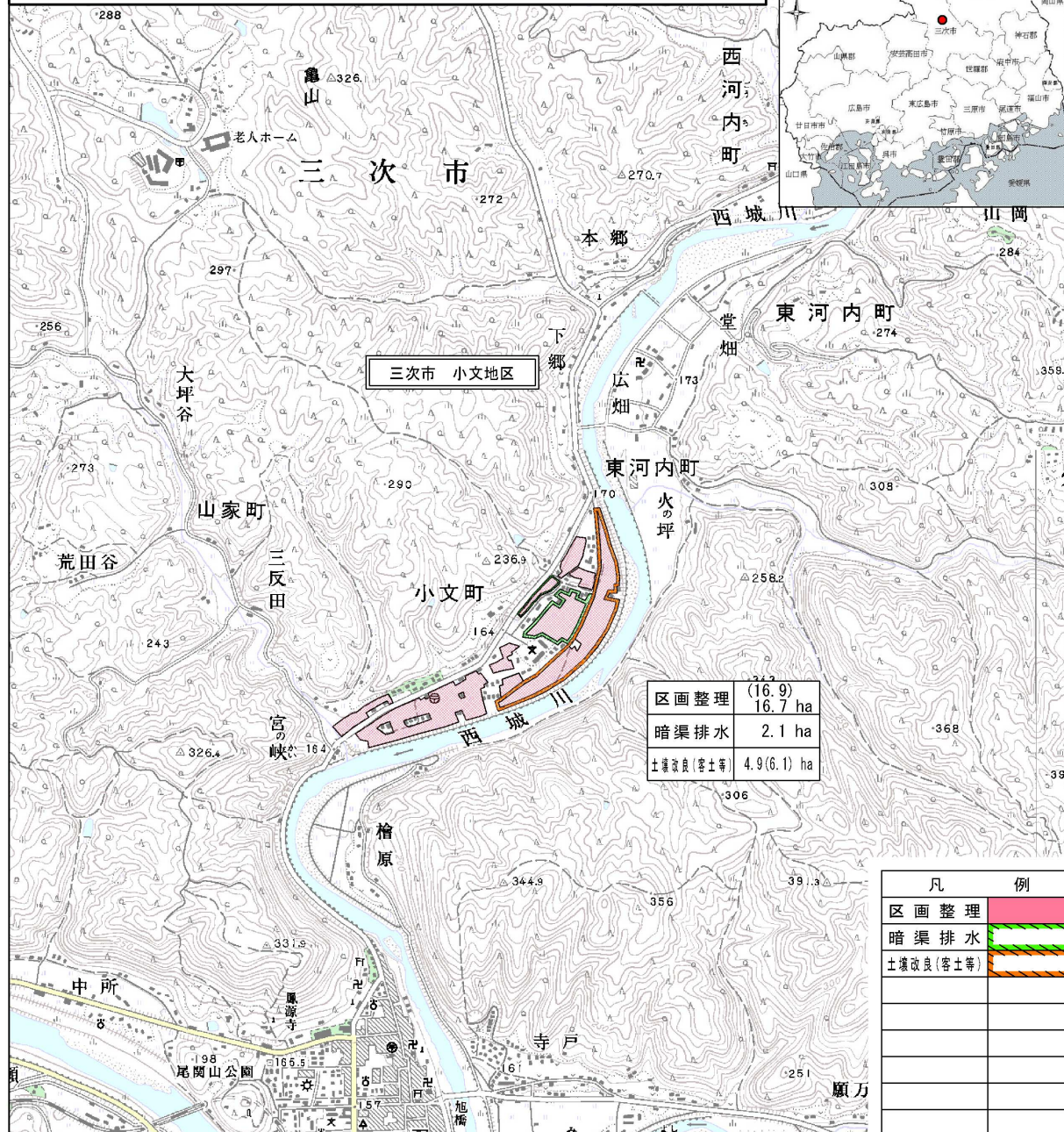
区分	事業名	事業主体	受益面積 (ha)	事業内容

第13章 現況・計画図面

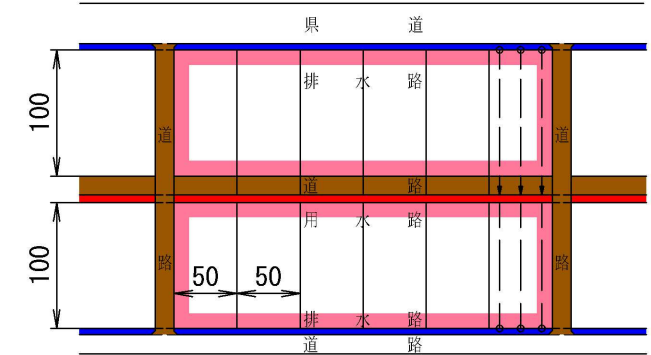
- 1 現形図
- 2 確定測量図
- 3 計画概要図及び主要構造図

2. 計画概要図

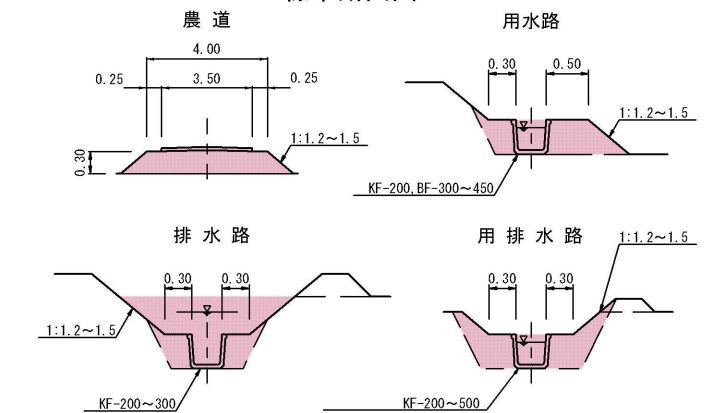
計画平面図 S=1 : 25,000



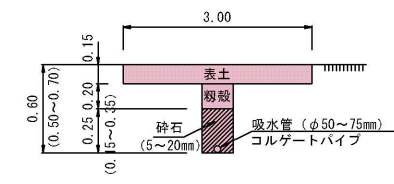
標準区画図



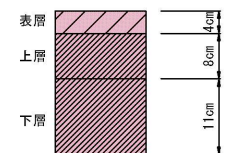
標準断面図



暗渠排水(吸水管)



アスファルト舗装



土壌改良(客土等)

